

平成26年度

# 十和田市褒賞

公共の福利増進に功労があつたかたや、広く市民の模範となるかたをたたえるものです。



白取 由紀男さん  
(71歳・西十三番町)



程川 節男さん  
(76歳・切田字堰向)



南部裂織保存会 (会長 吹越 雅子)

## 文化の振興発展に貢献

昭和59年に、当地域での「書」の芸術性を高めるため、「蒼雲書道会」を結成し、現在まで会長として、長年にわたり会員の技量の向上に熱意をもって取り組み、会員からは読売書法展の評議員や、日本書芸展の二科審査員が誕生するほか、各種展覧会での特選受賞者を数多く輩出しており、本市における「書」の指導ならびに技術向上に大きく貢献した。

また、市民文化センターにおいて、市民へ「書」を広めるための「蒼雲書道展」をこれまで29回開催し、市民への普及啓発活動に尽力した。

そのほか、氏は平成25年までの間に15年間連続を含む日展5科(書)への入選など、全国的な展覧会で数多くの賞に輝き、芸術書道としての技量は高く評価されるなど、本市の文化芸術の振興に大きく寄与した。

## 農業の振興発展に貢献

平成5年に、十和田市農業協同組合専務理事に就任して以来、17年余りにわたり農協役員として組合の経営改善や組合員の農業所得向上対策に努めるなど、本市の農業振興に大きく貢献した。

この間、5年余りにわたり代表理事組合長を務め、農業従事者の高齢化が進む中、農作業受託による集落営農の組織化を積極的に推進し、農作業の効率化ならびに担い手確保対策などに尽力した。

特に、全国的に進められた農協の広域合併では、平成17年から上十三地区管内7農協合併推進協議会の会長として指導的役割を果たし、平成20年4月の十和田おいらせ農業協同組合、平成22年4月に新たな十和田おいらせ農業協同組合の誕生に尽力するなど、組合の経営基盤強化・安定ならびに本市農業の発展向上に大きく貢献した。

## 文化ならびに観光の振興発展に貢献

昭和50年に、失われつつあった「さき織り」に着目して「南部裂織保存会」を発足させ、同時に「さき織り教室」を開始し、市内の「織人工房」、長下研修館などのほか、むつ市や三沢市、八戸市など、県内各地で普及活動を続け、各種講習会や体験事業、観光地での土産品の定着など、南部裂織の普及推進ならびに伝統文化の継承に尽力した。

また、匠工房「南部裂織の里」は伝承と普及の拠点として、体験事業が市内の多くの小中学校ならびに高等学校の課外授業として組み込まれているほか、市内外から訪れる体験希望者に指導している。さらに平成8年「南部裂織」が青森県伝統工芸品に指定され、これまでに会員5人が「青森県伝統工芸士」に認定されるなど、本市の観光振興に寄与するとともに伝統工芸技術の保存伝承活動に尽力した。

平成26年度

# 十和田市文化に関する表彰

文化功労賞は、永年にわたり文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著であるかた、文化奨励賞は、優れた文化の創造および普及活動を続け市民の文化向上に寄与したかたに贈られます。

## 文化功労賞



戸間替 治男さん  
(84歳・奥瀬字小沢口)

写友「光陰」に所属し、優れた造形感覚と斬新な発想に満ちた作品は、会員はもとより多くのかたがたに刺激を与えた。数々の入賞実績や二科会写真部青森支部長を務めるなど、長年にわたり写真文化向上に寄与した。(活動年数10年)



佐々木 勝雄さん  
(88歳・深持字長下)

晴山獅子舞保存会で活躍し、あらゆる演技種目すべてにわたって習得した後、小中学生などの後継者の育成指導に努めるなど獅子舞の伝承と普及に寄与した。(活動年数68年)



福田 つやさん  
(88歳・西二十二番町)

すばる俳句会に所属し、俳句に対する姿勢は他の会員の目標となっている。県下の大会などでも上位に入るなど俳句文化の向上に寄与した。(活動年数31年)



佐々木 みよさん  
(80歳・東五番町)

惺慕夢の会に所属し、洋裁、パッチワーク、ちぎり絵、茶道と多種にわたり情熱と力量を発揮し、子どもから高齢者まで作品を通して作る喜びを体験させるなど、これらの普及・発展に寄与した。(活動年数29年)



罇 陽子さん  
(84歳・東二十三番町)

十和田短歌会に所属し、短歌の研鑽にたゆまぬ努力を続け、優れた実力を発揮し続けている。全国大会へも参加し、意欲的に短歌の道を極め続ける姿は、多くの会員への奨励となり、短歌文化の向上に寄与した。(活動年数16年)

## 文化奨励賞



元木 キン子さん  
(72歳・東十二番町)

現展北奥羽支部に所属し、文化祭や美術展などに積極的に参加し、国内の美術展で入選を果たしている。現在は所属支部の事務局次長を務めるなど、今後さらなる活躍が期待される。(活動年数31年)



野月 明由美さん  
(47歳・西二十一番町)

蒼雲書道会に所属し、中央展にも積極的に出品活動を続け、優秀な成績を修めるなど、市の文化向上に寄与した。今後さらなる活躍が期待される。(活動年数20年)



故 芋田 彰彦さん  
(享年42・洞内字前田)

洞内南部駒踊保存会および南部洞内神楽保存会で活躍し、多くの後継者を育成指導するとともに、駒踊りおよび神楽の伝承と保存活動に多大な功績を残した。(活動年数24年)